



所 信

平成21年 4月 8日

山沢 清人



法人化後の大学運営では、構成員の声に耳を傾けるとともに、外部評価にも耐えられる経営能力が要求されています。私はこれまで工学部評議員、学部長を経験し、微力ながらも大学運営にも参画してきました。その経験を生かし信州大学の輝ける未来を築くために、次のビジョンを掲げ、学長に立候補しました。

—学生が生き生きと学び、教職員が教育研究に専念できる学舎(まなびや)の実現—

—全学の英知を結集し、信州大学のワンランクアップ—

学長に指名されましたなら、次の目標を掲げ、その実現に向け最善の努力をします。

1. 人間力豊かな人材の育成

『各分野の系統的な知識』を学び、『専門力と人間力』を醸成し、未来を拓く人間性豊かな『有智人材』を育成する。

2. 社会的責任と貢献

大学の社会的責任(University Social Responsibility: USR)を果たし、『地域に根ざし世界を拓く』教育研究拠点を実現する。

特に、人と地球の未来に関わる問題の解決に資する『知の拠点づくり』に総力を挙げる。これにより、国内外における信州大学のプレゼンスを高める。

3. 社会環境の変化に対応できる強靱な経営の推進

社会の変化に柔軟に対応しつつも、強固な研究教育理念を確立し、それに基づいた組織の効果的な運営を行う。

加えて、運営の透明性を高め、教職員が自らの立場で夫々考え行動し、それらを有機的に連携させることにより、全構成員の総力が結集した大学運営を行う。



学長職としてあるべき心構え

信念と姿勢

- ・ 周囲の声に耳を傾けます
- ・ 社会の動きに的確に対応し、自ら行動します
- ・ 自らの責任において決断し、実行します

学長の責務

- ・ 健全経営の推進
- ・ 信州大学のアイデンティティの確立と発展
- ・ 明るく働きがいのある職場づくり

運営の理念

健全経営の推進

- ・ 自らリーダーシップを発揮し、戦略的かつ機動的な経営基盤の確立を目指す
- ・ 全学の教職員の声を尊重し、スピード感を持って経営の透明性と組織の効率化を推進する
- ・ 財務の透明性を高め、本学の理念を達成するための自律的経営に努める
- ・ 男女が対等な構成員として経営に参画する仕組みを確立する
- ・ 教職員が自らの立場で夫々考え行動することを前提とするも、それらを有機的に社会と連携させる戦略的な仕組み作りを推進し、信州大学のプレゼンス向上を図る

人材の育成

- ・ 「各分野の系統的な知識」を学び、「専門力と人間力」の醸成を教育の基本とし、次代の知識基盤社会を担う「有智グローバル人材育成プログラム」の充実を図る

研究の推進

- ・ 時代と社会の要請に応える研究に軸足を置きつつ、基礎から応用まで、バランスのとれた研究の推進を目指す
- ・ 信州大学の強みと特色を強化し、「世界の研究拠点」群の形成を目指す

社会連携の推進

- ・ 大学の社会的責任を果たすために、産学官共同研究、共同事業等の推進と振興を図り、地域の発展と文化の醸成に寄与する